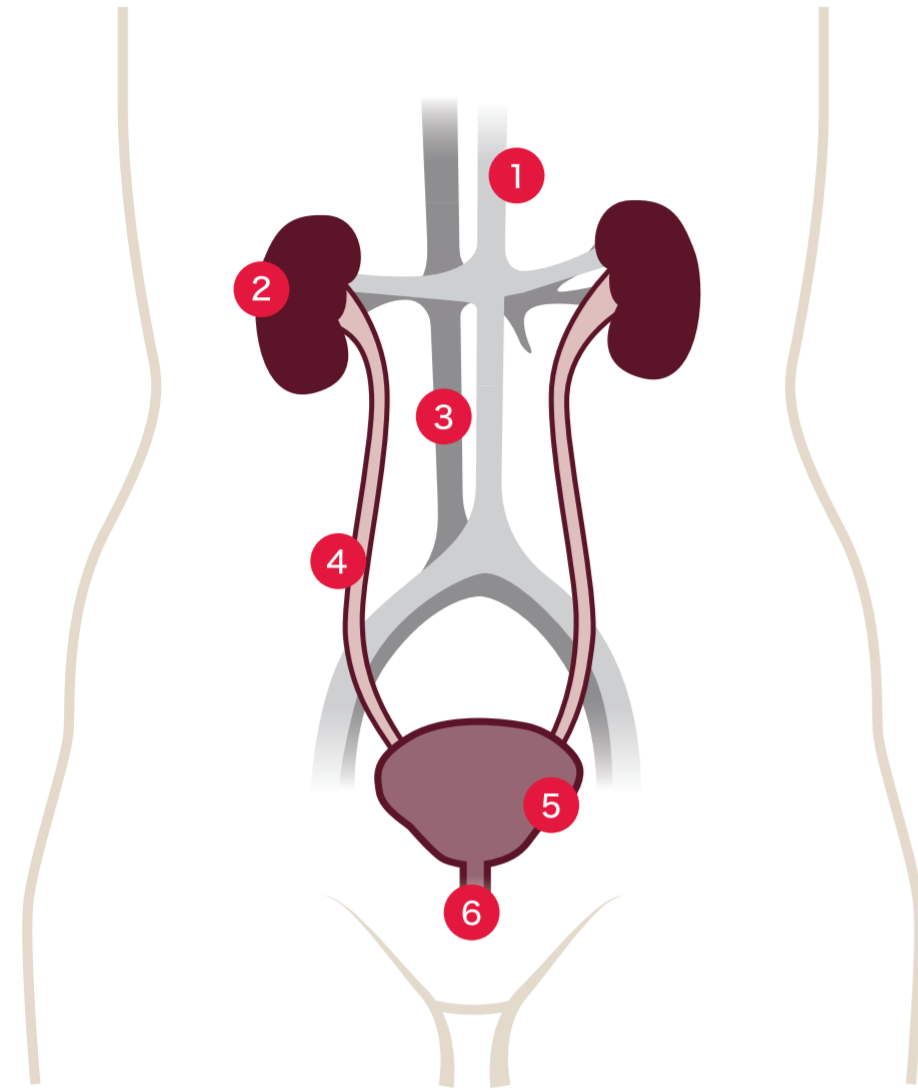


尿路変向術 – 解剖学と術式

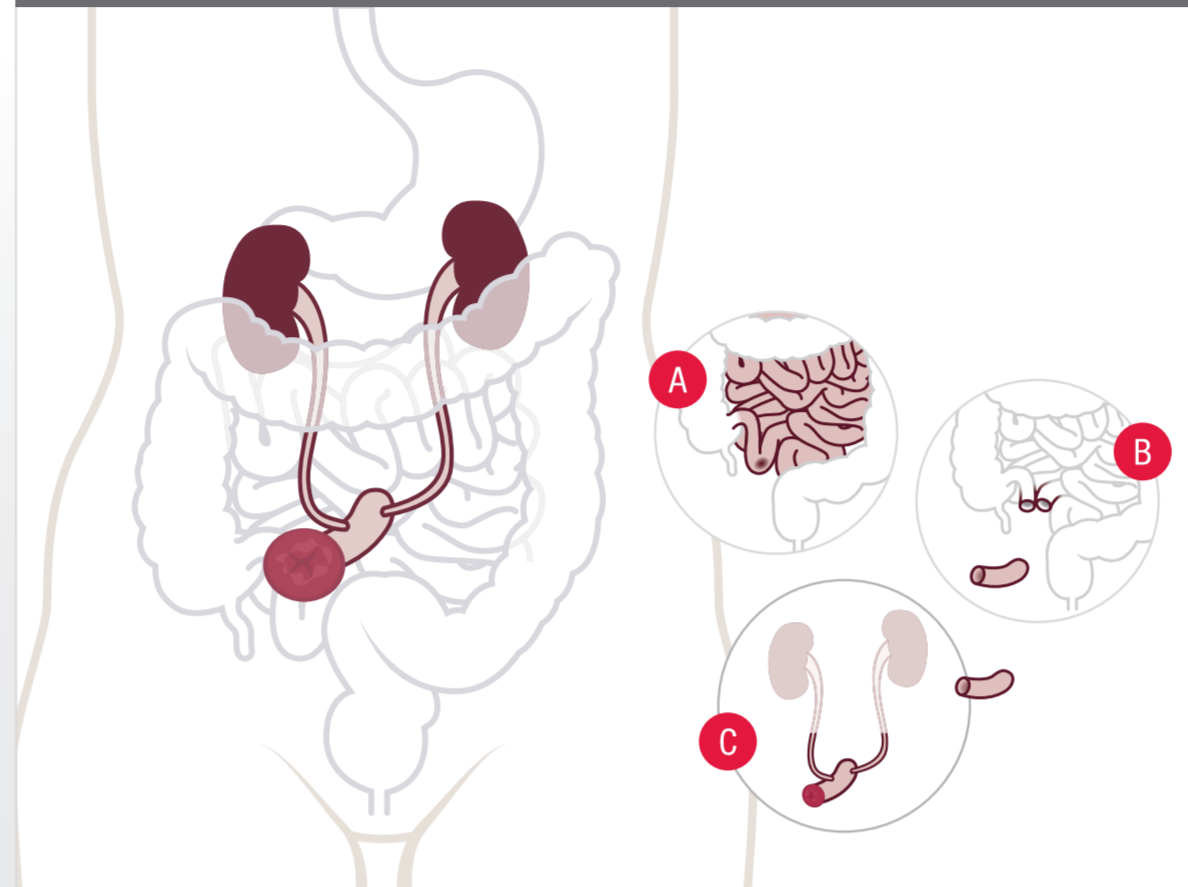
泌尿器系



- ① 大動脈
- ② 腎臓
- ③ 大静脈
- ④ 尿管
- ⑤ 膀胱
- ⑥ 尿道

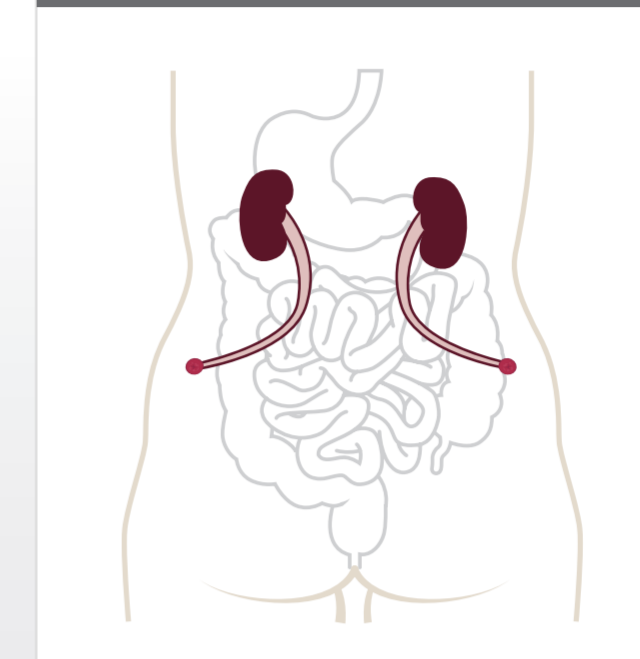
ストーマ造設を伴う尿路変向術

回腸導管造設術



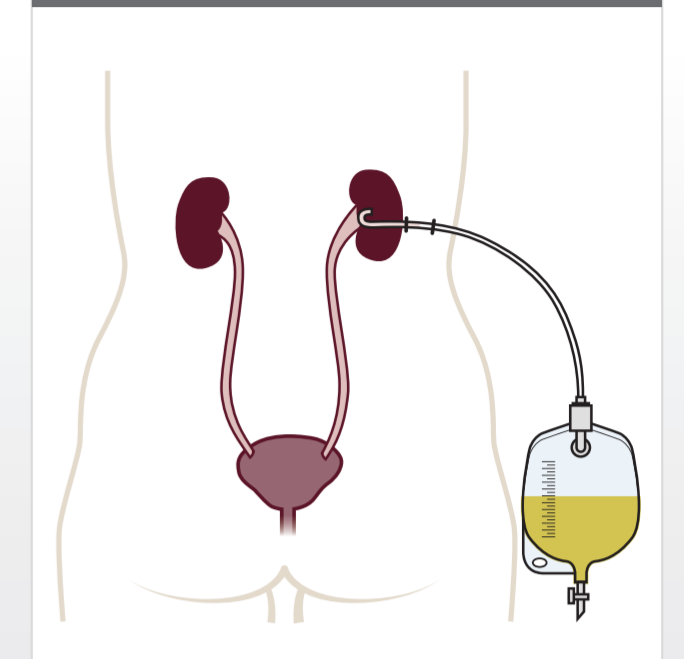
膀胱を摘出した後、小腸の末端部の一部を使用して、尿が流れ込む「パイプ」または導管を作成します。
尿管である新しい導管（ウロストミー）は、一般的に腹部の右側にあります。

尿管皮膚瘻



尿管は皮膚に直接縫合されます。膀胱は切除される場合とされない場合があります、患者によって1つまたは2つ造設されます。通常、体の後部の皮膚から出ています。尿の流れは持続的ですので、尿を溜めておける採尿袋が必要です。

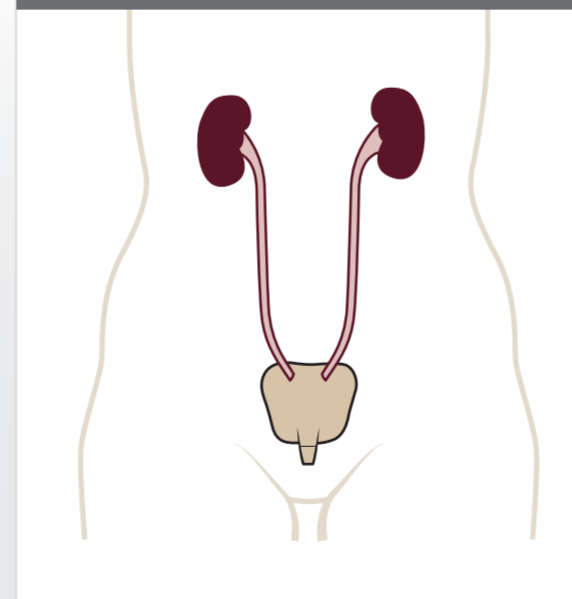
腎瘻



小さなチューブを腎臓に直接挿入し、尿をストーマ袋に排出します。尿の流れは連続的で、必要性に応じて、1〜2本の腎瘻造設術を行います。チューブは通常、体の側面または背面から皮膚の外に出ます。

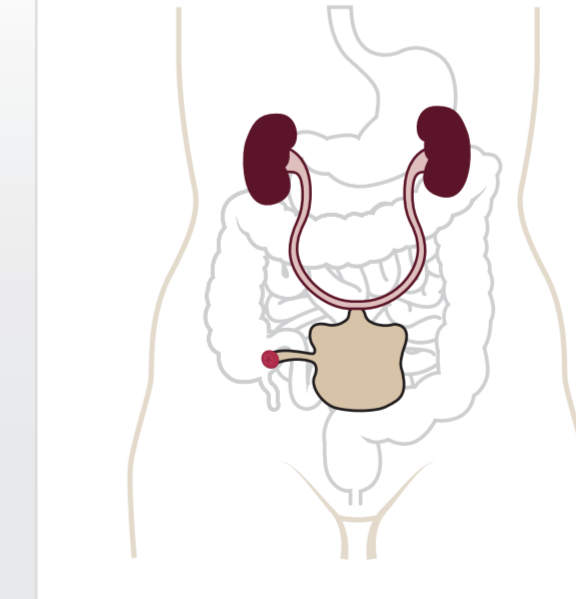
ストーマを造設しない尿路変向術

新膀胱造設術 (自排尿型尿路再建術)



膀胱を摘出した後、小腸と大腸を使って尿を溜める袋（パウチ）を作ります。これを骨盤内に設置し尿管と尿道は尿を溜める袋（パウチ）に接続されています。治癒が完了すると、患者は尿道から排尿できるようになります。

導尿管代用膀胱造設術



小腸からストーマを作り、皮膚につなぎます。ストーマは、人工膀胱のような構造になっています。患者はストーマからカテーテルを挿入し、尿や粘液を排出します。

正常なストーマと健康なストーマ周囲の皮膚の例



単品系装具



二品系装具



ウロストミー用装具例

医師や皮膚・排泄ケア認定看護師による定期的なフォローアップをお勧めします。使用前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および指示に関する情報について、使用説明書を必ずお読みください。
Hollister、Hollisterロゴ、モデルマフレックス、ニューイメージ、および「健康な肌から、よりよい毎日を支える」は、ホリスターの商標です。すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。
©2021 Hollister Incorporated.

